

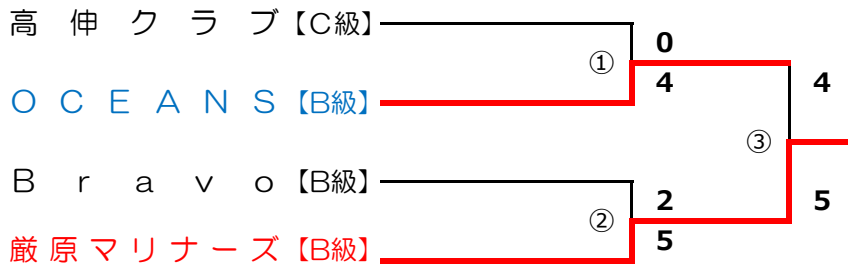
第29回 対馬軟式野球選手権大会

会期＝令和6年9月1日(日)

第74回長崎県軟式野球選手権大会・対馬予選会

会場＝美津島野球場

不参加チーム 対馬ビルズ、対馬・J、ドンジャース、球王クラブ、上対馬北斗クラブ



敵原マリナーズは4年ぶり
4回目の対馬選手権大会の優勝。
10月19日から長崎市で開催の
県軟式野球選手権大会に
対馬支部代表で参加する

①【一回戦】09:29～ 1時間13分

高伸クラブ	000	000	0	0
OCEANS	301	000	X	4

【二】築城、小島

初回のOCEANSは二死後に中村が左前打。続く四球の一二塁に築城の左越え二塁打で2走者を還し、死球の一二塁に梅野の左安打で二走は還ったが、一走も三塁を廻るも中継プレイにより本塁死で3得点。三回には先頭小島の左越え二塁打から一死後に豊永の左安打で二走の小島が還り加点。四回以降は代わった高原に対して、毎回先頭が四死球出塁して得点圏内に進んだが一打が出なかった、

高伸クの得点機は三回。四球と三槻の左安打で二死一二塁としたが三ゴロ封で、無得点に終わった。

【審判】阿比留正臣、波多野幹治、坂上仁志、波田正嗣

【高伸クラブ】 打安点球

⑧ 齊藤 良樹	2	0	0	1
⑤ 三槻 伸也	2	1	0	1
② 小宮 直人	3	0	0	0
⑨1 高原 吉弘	3	0	0	0
④ 齊藤 啓太	3	1	0	0
⑥ 小宮 良太	3	0	0	0
③ 笠松 宗馬	2	0	0	0
H 内山武日児	1	0	0	0
⑦ 波田 賢汰	2	0	0	0
7 初村 脩兵	0	0	0	0
① 樋口 和	0	0	0	1
9 山下 祐喜	1	0	0	0
犠0振1残4併0	22	2	0	3

【OCEANS】 打安点球

② 小西 清弘	3	0	0	0
⑥ 小島 圭祐	2	1	0	1
⑦ 中村 雄一	2	1	0	0
④ 豊永 聖	2	1	1	1
① 築城 陽聖	3	1	2	0
⑧ 白石 勝太	0	0	0	3
⑨ 梅野 恭平	1	1	1	0
H9 國分祐太郎	1	0	0	0
⑤ 松本 拓之	3	0	0	0
③ 山坂 真心	1	0	0	1
犠2振2残4併1	18	5	4	6

②【一回戦】11:09～ 1時間16分

敵原マリナーズ	000	401	0	5
Bravο	001	100	0	2

【三】高松、扇2

【二】黒岩、阿比留隆

1点差を追う四回の敵原マリナーズは先頭神宮の左線打から犠打二進後に四球と坂上の左安打で二死満塁とし、小出の四球押し出し後に高松が満塁走者一掃の右中間三塁打で逆転すると、六回には阿比留隆の先頭左中間エンタイトル二塁打に坂上が捕内野安打(二盗)の二三塁に小出の左犠飛で加点。

Bravοは三回に先頭の小澤が右安打。後逸の間に三進し中屋の左犠飛で先制したが、次の回に4失点し3点差を追う四回に扇が先頭で中越え三塁打し春田の一ゴロの間に還ったが、六回二死後に扇の2打席連続三塁打も実らず。

【審判】原田武茂、山下祐喜、波田正嗣、高原吉弘

【敵原マリナーズ】 打安点球

⑥ 高松 翔	3	1	3	1
④ 阿比留 舜	4	0	0	0
⑦ 里 隼人	2	0	0	2
③ 神宮大司朗	4	1	0	0
⑤ 黒岩 克成	3	1	0	0
⑧ 福永 誠周	2	0	0	1
DH 阿比留隆太	3	1	0	0
② 坂上 海翔	3	2	0	0
⑨ 小出 龍	1	1	2	1
P 山本 卓
犠1振3残6併0	25	7	5	5

【Bravο】 打安点球

⑥4 永石 帆楓	3	0	0	0
④2 扇 祥喜	3	2	0	0
⑤6 春田 一馬	3	0	1	0
③ 井 聡裕	3	0	0	0
②1 延塚 敬志	3	0	0	0
⑦9 鳥羽 涼介	3	0	0	0
⑧ 小澤 陽大	2	1	0	0
① 中屋 隆太	1	0	1	0
5 小宮 博輝	0	0	0	0
⑨ 眞木 悠吾	1	0	0	0
H7 井村 昭洋	1	0	0	0
犠1振4残1併0	23	3	2	0

③【決勝】13:00～ 1時間54分

敵原マリナーズ	000	010	4	5
OCEANS	000	301	0	4

【三】阿比留舜2

【二】坂上

國分、小西

初回に阿比留舜の左二塁打(暴投三進)と四球(二盗)の一死二三塁の先制機を失った敵原マリナーズは、3点差を追う五回に先頭の坂上が右中間二塁打。三盗後に小出の三ゴロー塁送球の間に還り2点差とし、続く高松、阿比留舜の連安打と四球の一死満塁の同点機も中軸2打者が倒れた。六回を終わって制限時間を1分残して、最終の七回表に先頭の高松が中安打。阿比留舜の中越え三塁打で還り2点差。里の右犠飛で1点差の無死走者無しから神宮が四球出塁(代走・原田)。投飛で二死後。福永が死球の一二塁に阿比留隆の左適時打で同点とした一二塁に坂上も三遊間を抜き二走が還り1点勝ち越し、その裏の一死後に失策走者を進塁させず逃げ切った。

OCEANSも二回に四球と國分の安打で二死二三塁の先取点機を逸したが、四回一死後に國分の右中間二塁打と小西が左中間に連続の二塁打で先制。松本の中安打と2連続四球で押し出した後に、中村の二ゴロ送球の間に三走が還り、こ

【敵原マリナーズ】 打安点球

⑥ 高松 翔	3	2	0	1
④ 阿比留 舜	4	3	1	0
⑦ 里 隼人	1	0	1	2
③ 神宮大司朗	3	1	0	1
R9 原田 育弥	0	0	0	0
⑤ 黒岩 克成	4	0	0	0
⑨3 福永 誠周	3	0	0	1
DH 阿比留隆太	4	1	1	0
② 坂上 海翔	3	2	1	1
⑨ 小出 龍	4	0	1	0
P 山本 卓
P 伊是名星柳
犠1振3残10併0	29	9	5	6

【OCEANS】 打安点球

⑧ 白石 勝太	1	0	0	3
⑥ 小島 圭祐	2	0	1	2
⑦ 中村 雄一	3	1	2	0
4 小宮 茂輝	0	0	0	0
④7 豊永 聖	4	0	0	0
① 築城 陽聖	3	0	0	1
③ 山坂 真心	3	0	0	1
⑨ 國分祐太郎	4	2	0	0
② 小西 清弘	3	1	1	0
⑤ 松本 拓之	1	1	0	2
犠1振2残9併1	24	5	4	9

【審判】西川典夫、坂上仁志、多田康佑、鳥羽涼介の回3得点。六回には一死後に3連続四死球を得た満塁に中村の左犠飛で3点のリードを取って七回を迎えた。

対馬選手権大会は第29回大会を迎えたが、以前は対馬町村会長杯野球大会と称していた。長崎県軟式野球選手権大会は昭和26年に始まったが、昭和44年までの19大会で対馬地区から参加したのは6大会(うち棄権1)のみであった。昭和45年から毎年参加するようになり、その予選会を行っていたが、50年に対馬町村会から優勝トロフィーが贈られ『対馬町村会長杯…』となった。

対馬6町代表チームの対抗戦として、平成7年の第21回大会まで行っていたが、翌8年から町代表チーム対抗で無く対馬連盟登録全チーム参加によるトーナメント戦とし、大会名も『対馬選手権大会』と呼称した。初年度の参加は登録20チームで17チームが参加し、初日は2会場で二回戦9試合。第二日に三回戦と準決勝の6

試合を1会場で行ない、第三日に決勝戦(9回戦)とした。

初代の対馬選手権チャンピオンを決める一戦は厳原レパーズが六回に2点を挙げ、エースの木屋が上対馬ライオンズを9回封じて2-0で制した。

平成9年から14年までの6年間は20チーム越え(最高22)の参加となったが年々減少し、26年に10チームとなり、27年には8チーム(不参加4)となった。

本年大会は還暦チームを除く一般登録9チームのうち、5チームが不参加し、4チーム参加という寂しい大会となったが、次年度は対馬選手権大会と称して第30回となる記念すべき大会である。全登録チームが参加してメモリアルな大会としたい。

平成8年以降の県選手権大会の対馬代表の戦績

回	年	予選会	県選手権大会参加	戦績
1	8年	17	厳原レパーズ	7-12 西海棒球団(西彼)
2	9年	22	大洋真珠クラブ	4-5 鹿町バンビーズ(県北)
3	10年	22	上対馬メッツ	3-7 ソニー長崎(諫早)
4	11年	21	豊玉町野球部	7-1 島クラブ(平戸) 0-3 親和銀行(推薦:前年優勝)
5	12年	21	上対馬ライオンズ	4-8 福江球友会(福江)
6	13年	20	上対馬メッツ	0-1 波佐見野球クラブ(東彼)
7	14年	20	厳原レパーズ	1-4 若松クラブ(上五島)
8	15年	19	厳原NYビーンズ	0-2 波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)
9	16年	18	厳原マリナーズ	5-0 県職五島(福江) 2-3 親和銀行(推薦:前年優勝)
10	17年	18	上対馬クラブ	5-2 平戸クラブ(平戸) 1-8 TEAM橋口(大村)
11	18年	17	厳原NYビーンズ(BEST4)	4-1 たちばな信用金庫(諫早) 5-0 南串野球部(県南) 0-9 三菱重工長崎(推薦:前年優勝)
12	19年	16	制覇クラブ	0-2 親和銀行(推薦:前年優勝)
13	20年	14	豊玉町野球部	0-8 親和銀行(佐世保)
14	21年	13	厳原NYビーンズ	2-6 アイケン医院(推薦:前年優勝)
15	22年	14	60回 豊玉町野球部	4-5 若松クラブ(上五島)
			記念大会 上対馬メッツ	2-6 舩田グループ(上五島)
16	23年	13	厳原NYビーンズ	0-4 JF長崎県漁連野球部(諫早)
17	24年	11	厳原マリナーズ	1-8 親和銀行(推薦:前年優勝)
18	25年	11	厳原マリナーズ	2-7 島原市役所野球部(島原)
19	26年	10	制覇クラブ(BEST4)	4-2 長崎三菱自動車販売 5-3 南原クラブ(推薦:大村) 0-2 親和銀行(前年優勝)
20	27年	8	上対馬メッツ	0-10 親和銀行(推薦:前年優勝)
21	28年	8	厳原マリナーズ	0-4 三菱重工長崎(推薦:前年優勝)
			対馬選手権は制覇クラブが優勝。県選手権大会は翌週開催の県民体育大会とのダブル出場のため辞退。 対馬選手権準優勝の厳原マリナーズが県選手権大会に出場した。	
22	29年	8	制覇クラブ	4-6 J・POWER'S松島(西海)
23	30年	7	制覇クラブ	3-1 海自大村(大村) 0-5 三菱重工長崎(A級推薦)
24	元年	5	制覇クラブ	9-3 Beams(島原) 1-5 親和銀行(A級推薦)
25	2年	7	厳原マリナーズ	0-7 長崎サニクリーン(A級推薦)
26	3年	5	制覇クラブ	3-0 崎山クラブ(福江) 2-1 佐世保市役所 0-9 長崎サニクリーン(A級推薦)
27	4年	5	Bravo	予選会決勝を厳原マリナーズが辞退し、制覇クラブが代表権を得たが、制覇クも辞退。 準決勝で制覇クに敗戦のBravoが県大会に参加 3-4 松浦ベイスターズ
28	5年	6	OCEANS	0-6 飯盛クラブ(諫早)
29	6年	4	厳原マリナーズ	

